

愛媛県歴史文化博物館

No.84

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

太古の時代から人は自然の食材を選択し、それを生産や加工するための道具を開発してきました。縄文時代には土器を使って、煮たり炊いたりする調理法を生み出したことにより、それまで食べるのできなかった固い根菜類や、木の実など、多くの自然の恵みを食料として獲得することができるようになりました。弥生時代には、大陸から水稻技術がもたらされ、私たちの主食である米を手に入れることができるようになりました。それ以降も、その時代に生きた人々の知恵と工夫により、今日のように多種多様な食事ができるようになりました。

現代の人々は、日々忙しい生活を送る中で、毎日の「食」の大切さを忘れがちです。そのような中、「食」に関する知識と「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践する力を育てる「食育」が、今日的課題として関心を集めています。

本展では、昔の人たちが何をどのように食べていたのか、それらを手に入れるための道具や技術がどのように変化してきたかといった点を、遺跡から出土した遺物を中心に紹介します。「食」という身近な暮らしの素材を通して、私たちの祖先の暮らしに思いをめぐらせていただければ幸いです。

平成 27 年度企画展

むかしの ごちそう

平成 28 年

2月20日[土] ~ 4月10日[日]

開館時間 9:00 ~ 17:30 (入館は17:00まで)

休館日 2月22日(月)、2月29日(月)、
3月8日(火)、3月14日(月)、3月22日(火)

観覧料 大人〈高校生以上〉 320円(260円)
小中学生・65歳以上 160円(130円)

※()内は20名以上の団体料金。他にお得な企画・常設展共通券もあります。

主催 愛媛県歴史文化博物館

後援

愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・ケーブルネットワーク西瀬戸・八西CATV・西予CATV・宇和島ケーブルテレビ・FM愛媛・FMがいや

考古

さじ 木製匙



出土地:今治市矢田八反坪遺跡
年代:縄文時代後期~古墳時代後期
サイズ:現存長20.5cm、幅5.7cm、厚さ0.9cm
所蔵:愛媛県教育委員会(当館保管)

現在、私たち日本人の多くは食事の際、箸を使用していますが、7世紀頃までは箸はありませんでした。邪馬台国や卑弥呼に関する記事で有名な中国の歴史書『魏志倭人伝』には2~3世紀頃の日本の様子が記されています。それによると倭人(日本人)は飲食に高杯^{たかつき}を用い、手づかみで食べると紹介されています。しかし、この時期の遺跡からは匙も出土していません。

本資料は、硬く粘りがあり、耐久性に優れた特徴をもつイヌガヤの木でできています。柄の中央に長辺1.4cm・短辺0.4cmの隅丸長方形の孔が二つ縦に並べてあけられています。これまでの研究によると、弥生時代の匙は、全国的に量が少ないため、毎度の食事に使われたのではなく、特別なハレの儀式に用いられた可能性が指摘されています。

愛媛県内でも本資料が唯一のものであり、また、柄の部分にあけられた孔も、普段使うものではないことをあらわしている特徴と思われます。

遠い昔、果たしてこの匙はどのように使われたのでしょうか。皆さんもぜひ想像してみてください。

(専門学芸員 亀井 英希)

*本資料は企画展「むかしのごちそう」(会期:平成28年2月20日から4月10日まで)にて展示いたします。

民俗

イギストリ

使用年代:昭和40年ごろ
使用地:伊方町三崎
サイズ:柄の長さ33.0cm、幅45.5cm、高さ5.0cm
所蔵:当館蔵



イギスという海藻をかいて採る道具です。イギスとは、アミクサなどいろいろな紅藻の総称で5月から梅雨前まで、もしくは夏の間には採集します。採集したイギスは、泥や砂を落とし、水洗いと乾燥を繰り返します。その過程を経て赤かったイギスは白っぽい繊維のようになり、保存できるようになります。イギスは、煮ると粘りが出て、冷ますと寒天のように固まります。だし汁を入れて固めたものを切り分けた後、酢醤油などの調味料でいただく「イギス豆腐」は、瀬戸内海の沿岸各地で食べられ、人が集まる

時の料理としてふるまわれました。

本資料は木製で、櫛の部分は竹でできています。櫛の部分でイギスをからめとりました。

イギスをはじめとした海藻や貝類は海辺で手軽に採れる栄養源であり、その季節にしか手に入らない旬のごちそうでした。お金や手間をかけていただく「ごちそう」ではなく、その時期にしか口にすることができない「ごちそう」を支えた道具について「むかしのごちそう」展ではご紹介いたします。ぜひご覧ください。

(専門学芸員 松井 寿)

*本資料は企画展「むかしのごちそう」(会期:平成28年2月20日から4月10日まで)にて展示いたします。

企画展

「むかしのごちそう」 関連イベント

平成28年2月20日(土)～4月10日(日)

休館日：2月22日[月]、2月29日[月]、
3月8日[火]、3月14日[月]、3月22日[火]

しょうゆもちを つくろう

松山地方の郷土料理
しょうゆもちをつくります。



日 時／企画展開催期間中の土・日・祝日
受付時間 ①13:00 ②14:00
各日先着15名(ただし2月27日、28日は除く)
参加費／300円(友の会会員は1回半額)

十二単着付け体験

桃の節句にちなんで十二単の着付けを実施!
本格的な十二単でおひなさまになっちゃおう!



時 間／①10:00～12:00 ②13:00～15:00
対 象／小中学生で身長130cm以上の方
参加費／無料

※事前申込み(各日8名)

応募者多数の場合は抽選となります。
ご了承ください。

※着付けに1人あたり30分かかります。

※撮影自由、着付けにかかる準備物は不要です。

【申込方法】

愛媛県歴史文化博物館ホームページから申込み。(愛媛県歴史文化博物館ホームページから『参加しよう!』の「十二単着付け体験」をクリックし、申込みフォームに必要事項を記入の上お申し込みください)

おひなさまイベント



平成28年2月27日(土)・28日(日)

おひなさまにへんしん♪

桃の節句にちなんで桂袴姿の着付けを行います。
撮影自由。カメラなどをご持参ください。



時 間／①10:00～12:00 ②13:00～16:00
各日先着50名
9:30～15:30まで、定員になりしだい締切

対 象／幼児～小学生
(身長100cm～120cm程度の方)

参加費／無料

注意事項／着付けに1人あたり5～10分程度かかります。
着付けにかかる準備物は不要です。ヘアメイクなどはいたしません。

他にも
春を彩る楽しいイベントが
盛りだくさん!

れきはくのアシあと



開館21周年記念イベントを終えて

平成27年11月15日(日)、愛媛県歴史文化博物館は開館21周年を記念してイベントを行いました。当日は恒例のお餅くばり、れきはく市&マルシェ、呈茶会等、各種イベントを開催しました。お天気にも恵まれ、多くの方に足を運んでいただきました。また今回で8回目になるれきはく市&マルシェでは、過去最多の店舗の参加があり、ステキな商品やグルメで多くのお客様に楽しんでいただきました。当日は常設展、特別展の観覧が無料となっており、展示室内で行った裂織りでコースター作り体験、手回し蓄音機で懐かしの音楽を聴くイベントは多くのみなさまに楽しんでいただきました。ご来館ならびにご協力、誠にありがとうございました。

平成 27 年度 歴史文化講座 下期

歴史講座 13:30~15:00

講座番号⑥「藤堂高虎時代の南予」
日 時:平成28年2月20日(土)
講 師:土居 聡朋(当館専門学芸員)

古文書講座 13:30~15:00

講座番号③「はじめての古文書①」 ※未経験者・初心者対象
日 時:平成28年3月6日(日)
講 師:平井 誠(当館主任学芸員)

講座番号④「はじめての古文書②」 ※未経験者・初心者対象
日 時:平成28年3月20日(日)
講 師:平井 誠(当館主任学芸員)

考古講座 13:30~15:00

講座番号④「石手寺経塚と周辺の遺跡—テーマ展の見所—」
日 時:平成28年1月16日(土)
講 師:石岡 ひとみ氏(県教育委員会文化財保護課 専門学芸員)
兵頭 勲(当館専門学芸員)

講座番号⑤「むかしのごちそう—何をどうやって手にいれ食べたの?—」
日 時:平成28年3月12日(土)
講 師:亀井 英希(当館専門学芸員)
松井 寿(当館専門学芸員)

体験講座

講座番号⑧えひめいやしの南予博2016 プレイベント
「『和紙』に触れる・学ぶ—「密●空と海—内海清美展」と四国の和紙—」
日 時:平成28年1月30日(土) 13:30~15:00
講 師:大本 敬久(当館専門学芸員)
参加費:無料

講座番号⑨「木工組立体験」
【定員:20名】
日 時:平成28年2月21日(日) 13:30~15:00
講 師:山本 諦聴氏(日曜大工BLICOLAGE)
参加費:1,500円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴

講座番号⑩「和布でコサージュ作り」
【定員:20名】
日 時:平成28年3月13日(日) 13:30~15:00
講 師:中井 順子氏(着物リメイク作家)
参加費:1,000~1,500円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴

講座番号⑪「内子の町並みを歩く」
【定員:30名】
日 時:平成28年3月19日(土)
講 師:内子町ボランティアガイド
参加費:2,500円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴



申込方法

希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前(体験講座は2週間前)までにハガキなどでお申し込みください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受付けます。応募者多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。参加費は、昼食代・講師謝金・施設観覧料等の実費です。

お問い合わせ:企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL(0894)62-6222 / FAX(0894)62-6161

歴史文化博物館友の会 会員募集

3月1日より平成28年度新規会員を募集します。友の会は、愛媛の歴史や民俗について、学び楽しむ人たちの集まりです。

《会員特典》

- 常設展と企画展を無料で観覧できます。
- 「会報」や「歴博だより」などをご自宅にお届けします。
- 友の会主催行事に参加できます。
 - ①研修旅行(年1回)
 - ②現地学習会(年2回)
 - ③クラブ活動(民俗、土器ドキ、パソコン、裂織、古文書)
 - ④特別展解説会
- 季節体験イベントの材料費が無料もしくは割引となります。
- 博物館の刊行物が割安で購入できます。

《入会方法》

- 1.会費をご持参の上、歴史文化博物館に直接お申込みください。
- 2.郵便振替払込取扱票に、名前・住所・電話番号・会員の種類を記入の上、郵便局で会費をお振り込みください。

口座番号 01610-0-45873
愛媛県歴史文化博物館友の会
※ご入金を確認後、会員証をお送りいたします。

《年会費(4月~翌3月)》

- 【小中学生会員】 500円
- 【高校生会員】 1,000円
- 【大人会員】 3,000円
- 【家族会員】 4,000円
- 【賛助会員】 10,000円

《お問い合わせ》 友の会事務局 電話(0894)-62-6222

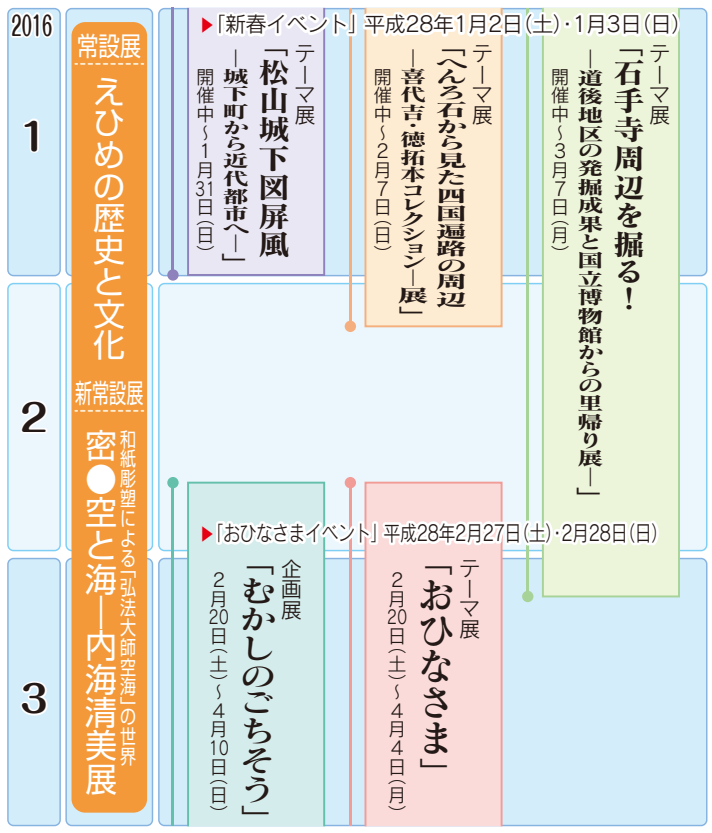
ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
- 休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観覧料

	区分	一般	団体(2割引)
常設展	大人(高校生以上)	510円	410円
	小・中学生	無料	無料
テーマ展	65歳以上	260円	210円
新常設展	観覧無料		

※企画展・特別展の観覧料はその都度定めます。
※団体は20名以上です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

展示スケジュール 2016.1~2016.3



※都合により、行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Museum Calendar 2016.1-3 休館日 ★イベント

1月							2月							3月										
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
					1	★	1	2	3	4	5	6	6	7	8	9	10	11	12	13				
★	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	13	14	15	16	17	18	19				
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	20	21	22	23	24	25	26				
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	★	27	28	29	30	31						
24	25	26	27	28	29	30	★	29																



愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 イヨテツ ケーターサービス株式会社
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 平成27年12月◎日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館